

平成28年度第2回ボランティア市民活動推進協議会 会議録

1. 開催日時 平成29年1月23日（月） 19時00分から20時30分まで
2. 場 所 四国中央市保健センター 1階 集団検診室
3. 出席者 (会長) 大西 誠治 (副会長) 西山 由美子  
(委員) 井原 司、大西 裕之、鎌倉 裕基、鈴木 千代子  
新田 浩介、藤田 英樹、  
(事務局) 市民交流課 金崎 佐和子 課長、守屋 伸康  
大久保 隆文、青木 大
4. 傍聴者 0名
5. 会議内容
  1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 議事
    - (1) 市民交流棟について (資料①・②・③)
    - (2) ボランティア市民活動センターについて  
ア 運営方法の変更について  
イ 休館日の変更について (資料④・⑤)
    - (3) その他
  4. 閉会

6. 会議録

発言者	発言内容
事務局長	平成28年度第2回ボランティア市民活動推進協議会を開催する。 会長より開会にあたりご挨拶をよろしく願います。  会長挨拶
会長	次第に沿って進めるので、忌憚の無いご意見いただき、活発な話し合いになるようよろしく願います。 まず議事1.(1)市民交流棟について事務局より報告願います。
事務局	〔市民交流棟について説明〕
会長	今の説明についてご質問、ご意見はないか。
委員	名称は「市民交流棟」で決定か？
事務局	まだ確定ではない。名称については政策局が担当しているが、名称についてご意見をいただいた場合、随時報告している。市民交流棟は観光協会が入っていたり、2階はCATVの液晶ディスプレイが設置される予定である。また休憩スペースは現庁舎のロビーの機能を果たすことになる。市民交流棟といっても庁舎の一部であり、ボランティアセンターが会議室等も専用で使用できるわけではない。
委員	特に用事がなくても行ってもいいか。
事務局	問題ない。ランチをしている高校生が気軽に立ち寄れる雰囲気になりたい。
会長	市民交流棟は、色々な部局が入るとのことだが、総合的な管理部署はどこになるのか？具体的に共有スペースを使いたい時はどこに相談すればいいのか？
事務局	管理部署は庁舎を管理している財産管理課である。また、具体的な使用方法については協議中である。
委員	ボランティアセンターの入り口はスライドドアではないのか？また新庁舎との連絡通路のドアはどうか。自動ドアにしてほしい。また2階に車イス用のトイレがないのでは？
事務局	現状では両方押し戸である。誰でも入れるトイレについても1階のみとなっている。担当課に要望として報告する。
会長	続いて、「議事2 ボランティア市民活動センターについて」ア運営方法の変更

について事務局より説明をお願いします。

事務局

〔「議事2 ボランティア市民活動センターについて」ア運営方法の変更について説明〕

会 長

28年度をもって社協と指定管理者制度の契約が終了し市へ引き渡しとなる。社協から離れることで、これまで行ってきた社協の得意とする分野について市はどう対応していくのか？どういう形で社協とタッグを組んでいくのか？

事務局

平成19年にボランティアセンターが立ち上がってすぐ、指定管理者制度に移行された。ボランティアセンターの基礎は福祉分野を中心に社協が作ったと思う。その上に見直しをかけていきたいと思う。メリットデメリットはあるが、当面の間、市が直接運営することとしたいが、いずれは民間団体に運営を委ねることが望ましいと考えている。

委 員

4月以降、職員の配置人数は変更になるのか？

事務局

現在は、ボランティアセンターの中に2人が常駐しており、社協の職員がセンター長を兼務している状況である。センター長は常に必要である旨要望している。現在の配置している2名の職員についても継続して雇用できるように調整している。

会 長

前向きに考えれば、運営方針も良い方に変わってくると思うがどうか。

委 員

社協から離れた場合、今使用している物品はどうするのか？

事務局

設立した当時、市で購入した備品も多くあり、市の委託料で備品を追加してきた経緯もあるのでそのまま引き継いで使用できることになっている。

委 員

ボランティアセンターは現在、中々入りにくい雰囲気があるように感じるが、気軽に入れる明るい場所に変わってくれば良いと思う。

委 員

お年寄りに関わる仕事をしているが、ボランティアセンターと関わることがこれまで無かったので次に繋がる形に変わってくれば良いと思う。

委 員

個人の考え方だが、市が主体的に運営することで社協もこれまでの経験から協力できることは協力してもらえと思う。これまでの社協が運営してきた経緯もあり、まどろっこしい部分もあるとは思いますが、新しい取り組みとしてボランティアコーディネーターの育成等に力を入れてほしい。コーディネーターはここにいるだけではわからないことが多いから、先進地の視察もして視野を広げることも必要だし、医療福祉学院の生徒もたくさん活動をしている。丁度10年間経過したところでもあり、良い機会でもあると思う。

委 員

社協に縛られると、どうしても福祉専門というイメージがある。市が直営で運営することで、ネットワークの構築はしやすいと思う。また、愛護班等の小さな組織も参加しやすいと思う。以前小学校で人が必要な時、事前に登録しておけば、草引き等の活動に協力してくれた団体もある。こういう小さな

組織が活動しやすい組織にできるいい機会だと思う。

委員 今まで築いてきた歴史を振り返れば、民間に委託するより公的な団体が運営を委託した方が正直運営しやすいと思う。学生交流の面では、ケアマネの実務研修に参加しているが、社会資源が大きく取り上げられている。社会資源を理解した上で高齢者や障害者のケアに取り組みたいと考えている。また、「社協だより」の周知についても、もう一つ知恵があっても良いかと思う。

委員 子育てフェスタや産業祭に参加したが、今の職員さんが「現場に直接来て活動できているな」と感じた。市直営については、現状以上のサービスを提供していけるような運営を目指せるのならば賛成である。

副会長 ボランティアは、市内各地のイベントで取り組まれているが、何がされているか認識されていない方が多い。企業でもボランティア活動を始めたいがどこで何をすればいいかわからないことが多い。社協だよりで周知されているが、社協から離れても社協だよりで周知を行っていくのか？

事務局 社協と協議したが、これまでのように1ページを全てボランティア活動の内容を掲載するのは難しくなる。交流会等の周知や募集は可能である。ボランティアセンターとして会報紙を発行して会員の皆様に周知をしていかなければならないと思う。市報においてもピンポイントでの周知は可能である。

会長 市が直営することについては、前向きな方向で考えていきたい。是非とも市民交流課で盛り上げていてもらいたい。

会長 続いて、「議事2 ボランティア市民活動センターについて」イ休館日の変更について事務局より説明をお願いします。

事務局 (「議事2 ボランティア市民活動センターについて」イ休館日の変更について説明)

委員 電話以外に電子メールでの問い合わせはなかったか？

事務局 リニューアルして以降、HPからメールを送信できるページがあるが、まだこの問い合わせ方法が浸透しておらず、現状ではメールの問い合わせはない。

委員 メールでの団体のマッチングをすることも可能か？

事務局 詳細事項が記載されていれば、マッチングは可能だが、電話で問い合わせていただいた方が早いケースが多いようである。

会長 メールでマッチングできるフォーム等も考えていただきたい。気軽にスマホで問い合わせる方もいるかもしれない。

委員 開催されているボランティア活動を目で探すことは大変なので、自分の条件を入力したらヒットした一覧が表示するような形になればいいと思う。

事務局	貴重なご意見として検討させていただく。
事務局	高校生用として、夏休み前にボランティアチャレンジという冊子を県社協が配っている。それをフォームにしたら面白いと思う。
委員	ケーブルテレビ等で同じ映像を流し続けてみてはどうか？意外と周知効果がある。コスモステレビの情報はやはりリアルタイムだから見たくなる。
委員長	その他について意見はないか？
委員	市民交流課はNPO法人の担当課であるし、ボランティアセンターも担当されることになる。我々のようなNPO法人の活動を一度見に来てほしい。
事務局	ボランティアセンターとしては、今後どんな活動をしているのか見にいけるようにしたい。人員配置次第にはなるが、コーディネーターの方が現地に行けるような仕組みにしていきたい。
委員長	他にないようでしたら、これで平成28年度第2回ボランティア市民活動推進協議会を終了する。